

Vol.5
2009.02

第四十八回日本SF大会 T-con 2009
とちぎSFファン合宿 先行情報誌



発行
製作

第四十八回日本SF大会実行委員会
編集部

〒328-0075

栃木県栃木市箱森町25-68

◎電子メール：info@t-con2009.jp

発行日

2009年02月27日

実行委員長からのご挨拶

●本登録への切り替えをお忘れなく！

2月も終わりに近づき、大会の一般参加費割引期間も、あとひと月余りになりました。登録参加の方で本登録参加を予定されている方は、ぜひともこのお得な期間のうちに本登録への切り替えをお勧めいたします。

実行委員会では、ホテルニュー塩原で下見を行い、企画申し込みを検討されている方々と一緒に、ホテル内各施設を見て回りました。その後、ホテルの担当者と質疑応答やご相談などを行いました。参加するみなさまにもっと楽しんでいただけることがないか、さらに便利になることがないか検討しています。

現在検討中なのは

- 東京都内～ホテルニュー塩原の貸切バス
 - 那須塩原駅～ホテルニュー塩原の専用バス
 - 往路もしくは復路に、昼食を兼ねたオプショナルツアーを行うこと
- などです。

どれだけ実現するか、現段階では確約できませんが、募集要項が決まりましたらプロGRESSレポートやwebサイトでお知らせいたします。その際はぜひともご利用ください。

T-con2009 実行委員会

実行委員長

熊倉晃生

総務部門からのお知らせ

・参加申込はお早めに

3月31日で早期割引(一般 29,000円)期間が終了し、以後 32,000円(一般)となります。一緒に参加するお友達がまだ申し込んでいない場合にはお得な早期割引があることをお伝え下さい。また参加申込の最終締切は5月末を予定しています。

・ルーミングの締切について。

友達同士で同じ部屋に泊まりたいと考えている参加者の皆さん。ルーミングの申込は5月末までですのお忘れなきようご注意ください。

申込方法については公式サイトのお申込ページをご覧ください。また、前後泊の申込も5月末となっております。



・東京からの直通バスを検討中です

現在、実行委員会では東京駅・塩原往復バスを検討中です。

8:00に東京駅を出て、12:00に会場に着くコースと、10:00に東京駅を出て車中でアニソンを歌いながら、途中で昼食を取り、14:00に会場に着くコースの2つを検討しています。詳細や予約方法などが決まり次第プロGRESSレポートでお知らせします。

・下見合宿について

企画の持ち込みを予定している参加者の方に、会場の様子を事前確認していただくため下見合宿を1月末に行いました。参加していただいた皆様、ありがとうございました。

先約があって参加できなかったという声も届きましたので、第二回目の下見合宿を5月下旬に計画しています。日時など詳細がきまりましたらプロGRESSレポートでお知らせいたします。

企画部門からのお知らせ

●自主企画およびディーラーズルームへの出展申込みにつきましてのお願い。

ただいま大会公式サイトにて、企画申込み、ディーラーズルーム出展申込みの受付を行っています。

両方とも特に締切は設けていませんが、企画に関しては3月末日までに、ディーラーズルーム出展に関しては4月末日までに申し込んでいただきますようお願いいたします。それを過ぎてしまうと、機材の調整や、プロGRESSレポート・プログラムブックへの掲載等で十分な対応がとれない場合が出てきてしまいます。くれぐれも、申し込みはお早めに。

申込みは、公式サイト「企画のお知らせ」からどうぞ。

●星雲賞に関して

日本SFファングループ連合会議と調整して、7月4日16:00から星雲賞授与式をとり行う予定です。

参考候補作リストと投票はがきは4月発送予定です。

●ゲスト情報

SF大会の楽しみの一つに、プロ活動をされているクリエイターの方々と参加者が、同じ空間を共有することがあります。

T-con2009でもそのような場をつくるべく、今年1月より様々な分野のクリエイターの皆さまへ案内状の発送を行っており、既に何人の方からお返事をいただいております。参加表明のあった方、メッセージを送っていただいた方は公式サイトでご紹介いたします。

どうぞお楽しみに。

下見合宿レポート!!

1月31日に行われた下見合宿には、実行委員会のほか、「カフェ・サイファイティーク」「サイバーパンクの部屋」「勇者のお茶会」の主催者の皆さんに参加していただきました。

企画によっては会場側との微妙な調整が必要となるので、こういった機会を活用していただけるのは、私たちにとっても大変助かります。

下見の感想を、「サイバーパンクの部屋」のとりにてい様よりいただきましたので、この場に掲載させていただきます。

1月末に行われたホテルニュー塩原にての「第一回下見合宿」に参加してきました。

大会スタッフからの大会タイムテーブル説明や質疑応答の後、ホテル内の見学。T-con2003の記憶を懐かしむとともに、リニューアルした館内にまた期待が生まれましました。

大きく変わったのは、虹の架け橋でわたる対岸の「東館」が「湯仙峡」という日帰り施設になったことです。露天も楽しめる充実したお風呂には、「放射線ホルミシスで細胞年齢が半分になる」という夢のような効果があり、私達は身も心も若返りました(笑)。どうぞ皆さん、お試しください。広い休憩処で滝を眺めながら健康茶をいただけます。今大会ではこの館は貸切対象ではないので、SF大会をちょっと離れてまったりと過ごすことができます。

客室を改造したカラオケルームは、歌う企画だけでなく少人数でのお茶会などでも使えそうです。

会場となる西館は見た目変化はありません

が、実はバリアフリー化していたり宴会場が畳にもフローリングにもできたりします。ロビーの片隅にネット環境もあったような気がします(未確認)。

合宿に参加して良かったのは、具体的に会場が見られたことありますが、不明点をじっくりと大会スタッフに確認や検討事項として挙げたり施設や設備に関して直接ホテルの方に尋ねたりできたことです。

次の下見合宿がある際は、企画をお考えの方はぜひ参加することをオススメします。またそうでない方も、今大会は一泊二日のため企画やセレモニーなどぎっちり詰まりせつかくの温泉を楽しむ時間は少ないので、この機会に三館のお風呂を堪能してみたいかがでしょうか。

(とりにてい)

実行委員会では5月にも下見合宿を予定しています。会場について詳しく知りたい方は今後のプログレスレポートや大会公式サイトをチェックしてください。もちろん温泉に入りたいただけの人も歓迎ですよ。



伊東部長に聞け!!

会場の「ホテルニュー塩原」の伊東部長は、SFやマンガにも造詣の深い方。今回はそんな部長に直撃インタビューを取行しました!

— まず、SFやマンガに対する伊藤部長のイメージをお聞かせください。

私は昭和30年の生まれで、小学校のときには当時発売されていた「鉄人28号」を全部揃えていたんです。でも、親にゴミと一緒に捨てられてしまって、悔しくてね(笑)。

この年になって、そんな気持ちもすっかり忘れていたのですが、皆さまがたとお知り合いになって、そんな昔の愛が蘇ってきました。

実は、いまでも家に帰るとマンガだけで1000冊以上あるんですよ。

私はマンガは世界に通用する日本の文化だと思います。マンガをきっかけとして、世界の人たちと交流することになれば、大きくいえば世界の平和にもつながっていくと思うんです。

そういう意味では、当時、皆さんとの直接窓口を担当させていただいた、弊社の飯沼君が、その活躍を認められて、T-con2003の参加者の皆さんから暗黒星雲賞をいただいたというのは、本当に印象深いですね(笑)。

— 当日は、どんな企画をご覧になりましたか?

いろいろな企画を見せていただいたのですが、あの二泊三日での睡眠時間が私が3時間、飯沼君は2時間(笑)。正直、なにがなにやらという感じですね(笑)。

— 会場中を駆け回っている感じでしたか?

はい。それでも会場の熱気ははっきり覚え

ています。

— 準備は大変だったのではないのでしょうか。とくに「鉄人定食」とか。

あのときは調理場が一生懸命になってくれて。あれほど大きな餃子なんて、当然作ったことなどないわけですが、それでも何とかやってのけてくれました。

— 何度も試作して頂いたと聞きました。

はい。実は最初は私たちが食べたんです。実行委員会の皆さんに万一のことがあっては大変ですから。飯沼君が一番犠牲になったんじゃないかな(笑)。

一番苦労したのが「焼き」の工程。絶対に生焼けの状態では出せませんから。相当に知恵を絞りました。

— ありがとうございます。2003年から6年間で、ずいぶんホテルも様変わりしましたね。

はい、おかげさまで塩原温泉は3年ほど前に開湯1200年を迎えました。当ホテルでも、各種リラクゼーション施設や新しい温泉設備をオープンさせています。これは絶対に楽しんでいただきたいですね。ナトリウムが豊富で素晴らしい湯ですから。

那須塩原全体としては、アウトレット那須がオープンして新しい人の流れが出来ました。那須の御用邸を開放するという話も聞いています。

那須塩原というのは、自然と調和のとれた温泉なんです。是非、楽しんでいただきたいと思います。

(次号につづく)

自主企画を計画されている皆さまへ

T-con2009で自主企画を計画されている皆さま、企画の申込みはお済みでしょうか。

自主企画をご希望の方は、大会公式サイト「企画のお知らせ」ページから、「企画申込みフォーム」にアクセスして、必要事項をご記入いただくか、「企画申込書（PDF版）保管先」から申込用紙をダウンロードして、必要事項をご記入のうえ、右に記しました実行委員会 企画担当まで、郵送もしくはファクシミリ、電子メールでお送りください。

なお、会場および機材の都合などにより、お申込みいただいた企画をお断りすることもございます。なるべくお早くのお申込みをお願い致します。

自主企画の申込みについてのご質問、ご要望なども、右記宛先にお寄せください。

皆さまからのお申込、心よりお待ちしております。

【企画申込書の送付先】

○郵送の場合の送付先

〒328-0075

栃木県栃木市箱森町 25-68

第48回日本SF大会

T-con2009 実行委員会 企画担当行

○ファクシミリの場合の送信先

0282-20-5568

○電子メールの場合の送信先

【宛先】planning@t-con2009.jp

【題名】自主企画申込



スタッフ管理部からのお知らせ

●スタッフ会議に参加してみませんか？

T-con2009 実行委員会では大会スタッフとして一緒に準備・運営のお手伝いをしていただける方を絶賛募集中です。スタッフは志願制をとっておりますので、スタッフ会議を覗いたからといって無理やりスタッフにしたりなんてことはありません。

首都圏に住んでいないから参加できないよという方でも、メール等を使ってできるスタッフ作業は沢山ありますので、興味のある方は、スタッフ管理部までご連絡ください。

また、スタッフ会議では企画の持ち込みを考えている参加者の方からの相談も受け付けておりますので気軽にご参加ください。

次回スタッフ会議は……

日時：3月14日（土）13:00～17:00

会場：ちよだパークサイドプラザ 会議室 A



編集部からのお知らせ

●プログレスレポートはPDFです。

今回も、プログレスレポートはPDFファイルでお届けしました。皆さんには、ダウンロードなどのお手間を掛けてしまいますが、印刷物を配布する従来の方法に比べ、圧倒的なコストダウンをはかることができました。電子化によって節約できた経費は、企画の充実など、大会をより楽しくするうえで必要な分野に振り分けていきたいと思っております。

皆さまのご理解とご協力に心から感謝いたします。

●ご質問やご意見をお待ちしています。

プログレスレポート編集部では、皆さんからのご意見、ご質問をお待ちしております。大会に参加するうえで知りたいこと、大会運営に関するご意見など、なんでもけっこうです。ご質問のなかで、参加者の皆さんに知っていただきたいと私たちが判断したものについては、プログレスレポートのなかでお答えします。それ以外のご意見、ご質問につきましても、担当部署に責任をもって転送いたします。

ご質問、ご意見の宛先は、本プログレスレポートの最後をご参照ください。



T-con2009 概要

●開催日程

2009年7月4日（土）～7月5日（日）

★一泊二日の完全合宿型SF大会です。

●参加費

一般…29,000円（2009年3月末日申込み分まで。以下同様）／高校生…18,200円／中学生…13,200円／小学生…9,600円／未就学児…7,200円／3歳未満…無料

★学齢は大会当日現在となります。また、栃木県に在住の方には「県民割引」制度がございます。

●開催地

〒329-2992

栃木県那須塩原市塩原 705

ホテルニュー塩原

実行委員会へのご連絡は

●実行委員会【総合窓口】

〒328-0075

栃木県栃木市箱森町 25-68

第四十八回日本SF大会 とちぎSFファン合宿 T-con2009 実行委員会

電子メール: info@t-con2009.jp

●企画局

企画関連のお問い合わせは、こちらへ。

電子メール: planning@t-con2009.jp

●スタッフ管理部

スタッフ関連のお問い合わせは、こちらへ。

電子メール: staff@t-con2009.jp

●Web

http://www.t-con2009.jp